



人本日についてⅡ

Nijnohin (人本日)

David K. Reynolds, Ph.D.

dkreynoldsjapan@gmail.com (日本語対応返事英語)

dkreynolds@juno.com (英語)

<http://constructiveliving.org> (英語)

<http://constructiveliving2.weebly.com/>

1956年にアメリカの人類学者 Horace Miner ホーラス・マイナーは Nacirema と呼ばれる北アメリカ人に関する風刺論文を出版しました。

同氏は、アメリカ人の行動とアメリカ文化（もちろん、Nacirema は後れています）における表面的な意味の知識だけしか持たない部外者が、書いたかもしれないように風刺化しました。

そこで私も Nijnohin に関して面白くなるよう風刺化して書いてみます。

Nacirema と呼ばれるおかしい人たちの表現に関連づけて、うまくこじつけてみると Nijnohin は大きなプラスチックの黒いお守りを首にかけて自分たちの領土の外に短期間で移住することで知られています。旅行中にこのお守り（カメラ）で人々の心と場所をとらえます。お守りはその Nijnohin が実際に他の種族がいる珍しい土地に行ったことがあるという証拠を示します。しかし、彼らはいつも安全な日本人種の国に戻ることが幸せです。

温かい社会とのつながりだいじ

Nijnohin は、温かい長風呂につかり、湿度が高い夏、熱くなり過ぎた小さな住居とアルコール漬けで温かさに取りつかれています。体毛はなく、伝統的な着物は何枚もの布で腰をくるみます。温かい愛情とは対照的に常に冷静に見えるようつくろいます。

Nijnohin の美德は節度と謙虚です。実際の能力以上の自信を表に出す Nacirema の軽率な習慣に驚きます。それでも Nijnohin は、営業活動で自分を褒めざるをえないことを強いられます。

個人的な素晴らしい働きを主張せずに、自分たちの成果を大声で話せ、営業一門の肩書で個人が確認されることで、困難な状況を避けることができます。

しかし、日本の地でうわべだけの謙虚な態度を維持するのはますます難しくなってきました。政治指導者たちはとっくに謙虚さを断念しています。

Nijnohin の目標は、正直と信念を犠牲にしても社会とのつながりを滑らかしておくことです。なんと上手に人々が一緒にうまくやっているかを示す様々な式典が行なわれます。そのような場では安全な社会的コミュニケーションのために様々な言葉づかいや決まり文句があります。しかし裏ではゴシップと批判が蔓延しています。だれかが初めに話し、それを聞いた人がまた別のだれかに話す噂で満ち、噂の真実は、噂への興味ほど重要ではありません。

子供の教育

Nijnohin の子供たちは自分がどれほど教育が必要かを決めることができます。本人の決めで十分な教育を受けられる子供は、母親が彼らの将来を心配するすばらしいショーを演じている間、コンピューターゲ

ームをして家に長逗留できます。

ビールと会話

Nijnohin 間の主な話題は食物（アメリカの Nacirema はセックスについて）についてです。

先輩や上司が飲み食いし、料理法や遠方から珍味が届く話しをするのをじっと見つめることで時間が費やされます。

地方では、女性や男性たちの間で（昔の女性はビールを飲む姿を見られるのはふさわしくなかったのですが）今人気が高い地ビールが作られます。さらに、ビールは自動販売機で全国どこでも思春期の若者にも売られています。

2 番目に人気が高い話題は誰かとだれかの関係です。Nijnohin は日本人全体が一つの家族であると考えます。

他の人と話すのは楽ではなく、確かな関係ができるまで話すのに気を使います。初めての人と会うときはいい関係を作るために身元確認記号のついた木の樹皮の小切れ（名刺）を交換します。Nijnohin は権限と能力に取りつかれています。社会的地位が話しの中に反映されます。

外国人への高待遇

外国人が明確な社会的地位がはっきりしていない場合、最初は極端な丁寧さと敬意で対応するのは最も安全です。後でその外国人が利用可能な能力がないとわかると、差別待遇を受けるかもしれません。海の向こう側から他の種族を輸入することは、生粋の Nijnohin 人口が高齢化し、減少してきてから最近の必要事になりました。このような輸入は、国際結婚などで先住民（日本人）に加わり、生粋ではなく準種族の一員になります。

Noppin（日本）では自分の社会的地位について意識しすぎということはありません。

Noppin での外国人はなぜ結局は、Nijnohin に愛 / 憎の態度をするようになるのでしょうか？私は外国人が期待するようになる、変らぬ尊敬と注目の約束を果たす Nijnohin の能力のなさに理由があると思います。西洋人は特に、Noppin で訪問者として初めに受ける礼儀正しい配慮を切望します。受けとった思いやりと丁重さは強い肯定的な印象とそれ以上の待遇を望みます。

しかしながら、時間が経つと、客としての光沢は Nijnohin の目から見て失くなります。事实は、Nijnohin も同じようにいろいろな義務や約束と関心を持っているということです。外国人が望むように長期にわたって彼らに多くの時間を捧げることはできません。Nijnohin の注目が他の所（最近の訪問者を含みます）に変わって、その外国人はがっかりし、見捨てられたように感じ始めます。Nijnohin の高いレベルの注目が継続するであろうという約束はなかったけれども、続くに違いないという願望があります。期待と現実の間で増大する矛盾がもとで不満と反抗心を起こす外国人もいます。

外国人の死に関してさえ別にさせられます。Noppin の大都市の一部に外国人墓地があることに驚くでしょう。観光名所の墓地は緑で、ピースフルで、別に分けられています。

キャンパス リーディング シリーズ “the heart of the Japanese people” 「日本人の心」（パロディではありません）全訳—1980 年 1・15 初版—が季刊誌 2002 年/冬 No. 23 号～2004 年/夏 No. 33 号に 11 シリーズ

で掲載されています。シリーズ1の冒頭でレイノルズ博士は次のように述べています。

「この本は現代日本の国民性に関する私の印象が書かれている。今日の日本人心理の私の見方でもある。私の見方のパターンにあてはまらない日本人もいるし、またこのパターンに全く同意しない学者もいるかもしれない。が、私はこの二十年間毎年日本を出入りし、合わせて十四回ほどの旅をした。そうすることで日本人を理解するのが私のやり方である。もちろん、私の見解は私が知っている日本人と私がしてきた研究に基づくもので、そのほとんどが東京である点で限定されている。しかし読者には、私の観察が面白いと感じていただけるであろう。というのは、特に日本人は、他国の人が自分たちをどんなふうに見ているかを知ること到大変強い興味を持っているからである」。(アメリカ・オレゴン州CLセンター所長)

 [目次へ戻る](#)